

羅針盤

介護福祉士

らしんばん

No.76 (No.34)

平成 31 年 2 月発行

一般社団法人岡山県介護福祉士会

〒700-0807

岡山市北区南方2丁目13-1

岡山県総合福祉・ボランティア・

NPO 会館「きらめきプラザ」7 階

TEL : 086-222-3125

URL : <http://www.okayama-kaigo.jp>

印刷編集協力：友野印刷



えがお

人生もうすぐ101年、色々な事をコツコツと頑張り、辛抱強く生きてこられました。雑巾縫いや食器洗い、おやつ作りや畑の草取り、牛乳パックで鉛筆立て作り、干し柿作りに千羽鶴。何でもコツコツ、取り組まれています。何より素晴らしいのは、高齢とは思えない食欲とチャレンジ精神。

100歳で初めて行った『マクドナルド』も、しっかりと笑顔で食べ楽しむことができました。

これからも、利用者様の「今」を大切に、「その人らしい生活」を支援していきたいと思います。

介護老人保健施設 ゆうあい 菅原 摂子

～見せよう介護の魅力を！地域へ、次世代へ～

「第4回 おかやま介護グランプリ 2018」開催

2018年12月15日（土）、岡山コンベンションセンター（ママカリフォーラム）にて
第4回おかやま介護グランプリ2018が開催されました。
緊張感が漂う中、12組が競技に参加し、イベント参加者総数は191名となりました。



今年は、高校生介護技術コンテストで岡山県、中国地区で優勝をされた岡山県立備前緑陽高等学校の生徒さんがデモンストレーションをしてくださいました。

未来の介護福祉士に温かい声援が送られました。

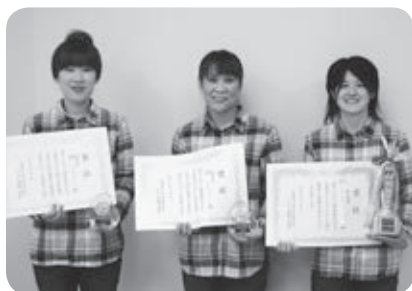


受賞者の感想

総合優勝

チームのどか (津山市)

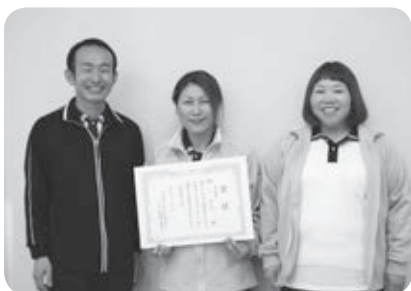
普段通りのことが発揮できてよかった。この賞を励みに今まで以上にこれから職場でも頑張っていきたいです。職場に良い報告ができます。ありがとうございます。



準優勝

チーム吉備高原賀陽荘 (加賀郡)

練習はできていなかったけど、日頃の成果が発揮できてよかったです。まさか、まさかの賞。いい賞を頂いたので、これからも介護の場面で生かしていきたいと思います。



敢闘賞

初出場!!

チームまこと会 (岡山市北区)

来年は優勝を目指してリベンジします。緊張していたので、控室で考えていたことが本番ではできなかった。でも(賞を)もらえると思っていたので嬉しかったです。



部門別優秀賞

【食事介助部門】

チーム社会福祉法人寿光会

唐川 亜季さん

【排泄介助部門】

チームのどか

織田 恵さん

【入浴介助部門】

チームのどか

西岡こずえさん



チーム社会福祉法人寿光会

来場者アンケートより

- ・皆さんとても配慮が行き届いていて、声かけもよく、どの競技者の方も素晴らしかったです。
- ・介護って誰でもできると思われがちですが、色々なことが考えられ、本人の意思を尊重しながら展開される、専門性の高い技術なんだと改めて感じました。もっと一般の方に見て頂き、広めれる会場であればよいのにとおもいました。
- ・認知症の方へのケアも取り入れて欲しい。
- ・普段、慣れで利用者の方々に関わっていたように思います。選手の方々の丁寧な声かけを聴き、明日からやっていこうと思います。
- ・皆さん各々にケアの仕方があり、色々考えさせられるものがありました。
- ・7分は長いと思いましたが、終われる人と終われない人がおり、声かけやケアの方法によって違って来るから難しさを改めて感じました。
- ・競技者の堂々たる姿に感動しました。

展示企業一覧 (順不同)

No	会 社 名	No	会 社 名
1	東洋羽毛中四国販売株式会社 岡山営業所	6	メディカルクラフトン株式会社
2	株式会社アスティコ	7	株式会社林原
3	有限会社ナカシマ建創	8	株式会社日本トリム
4	株式会社リョーキ 介護岡山店	9	株式会社ウェルパートナーズ
5	株式会社アンビシャス		

第25回全国大会・第16回日本介護学会

「Remind 創造的復興を目指す熊本から発信!!」～生活支援の専門職の価値～

開催日 平成30年11月2日(金)～3日(土)

会場 熊本市民会館

第25回全国大会・第16回日本介護学会inくまもとが「創造的復興を熊本から発信!!」～生活支援の専門職の価値～をテーマに行われました。

開会式には、「くまモン」と「ひごまる」が登場し、明るく楽しい雰囲気でした。行政説明では、介護人材確保対策の現状について、最新の情報を述べられました。基調講演は、「地域共生社会に向かって実践的課題」～介護福祉士の専門性とアイデンティティ～と題した講演でした。共生型多機能を目指して、地域ぐるみで展開した事例を出しながらどのように目指したらよいのか説明がありました。そのためには、多様性と柔軟性と継続性が大切であると述べられました。2日目の分科会では、他県の災害支援についての報告を聞いて、岡山県介護福祉士会ではどうすべきか、会員の皆様の知恵と力を合わせながら、組織から強くしていくべきだと感じました。よろしくお願いします。



(会長 安達 悦子)



第24回中国・四国ブロック研修会 高知大会

「次世代に伝えたい! 介護福祉士の過去から未来へ」

開催日 平成30年11月25日(日)

会場 高知県立ふくし交流プラザ



平成30年11月25日(日) 高知県で開催された、中四国ブロック大会に参加してきました。

オープニングアトラクションとして、高知市が介護予防を目的に開発した「いきいき百歳体操」が行われました。この体操は、椅子に座ったままできる体操で、会場にいる全員で行い、開会前の緊張感をほぐしてくれるものとなりました。

基調講演は、「認知症を学ぼう～BPSDのタイプを知って安心を提供～」の演題で、特定医療法人一条会 渡川病院 地域型認知症疾患医療センター 吉本啓一郎氏の講演がありました。アルツハイマー型認知症をはじめとする4大認知症についての説明やユマニチュード技法についてのお話もありました。また、認知症を

治すことは不可能でも、BPSDの出現についてはコントロールが可能で、予防することもできる。そのために重要なことは「不安にさせないこと」とのことでした。いかに普段から利用者様と信頼関係を築き、『安心』を感じていただけるケアが提供できるかを考えさせられました。

午後からは、実践研究発表会が行われ、第1分科会では「多職種連携・次世代に伝えるもの」第2分科会では「障害者支援・生と死の見つめ方」と2つの分科会に分かれての発表が行われ、私は「障害者支援」の分科会に参加しました。医

青年部



今年も晴れる家から6名が中四国ブロック研修会に参加してきました。前日は中四国の晴れる家のような若者会の代表者達が集まり、活動内容や現状と課題についてと言った各県が抱える悩み事をフリートーク形式で話し合いました。会の冒頭で日本介護福祉士の石本会長より、「中四国の青年隊が全国に先駆けてしてくれている。今後も規定を外れたワクワクするような企画で介護福祉士会に入っていない人が来たいと思える活動をして行って欲しい。」とお言葉をいただきました。また、夜会では主催県である高知県によるおもてなしが行われ、皿鉢料理や返盃という文化を体験することが出来ました。そして、中四国地方の介護福祉士の会長をはじめ、理事の方とも合席となり、名刺交換をすると「晴れる家の活動、Facebookで見させてもらっています。楽しそうな活動をされていますね。」と声をかけてくださる方が何人もいてくれたことに、驚きとともに私たちの活動をSNSを通じて様々な人が見てくれているのだという励みになりました。私自身は晴れる家に入ってまだ2年しか経っていませんが、県外の介護をしている方と話の機会を持つことが出来る、そしてそこから新たな人脈が広がるということが晴れる家に入る大きなメリットであると改めて感じる事が出来ました。今回の中四国の若者会議を通して、未来に向けて私たちがなすべきことは介護は一人では出来ないものであり、それは青年隊の活動にも当てはまるのではないかと考えています。次の開催県は、岡山県であることも踏まえて晴れる家、そして岡山県介護福祉士会、県内に所属している介護福祉士の力を合わせて次の中四国ブロック研修会を成功に導けるよう私たち晴れる家も尽力していきたいと思ひます。

(晴れる家 小橋)



療的ケア児の在宅支援においての医療との連携や介護現場におけるAIの活用、それぞれの生き方がある中での就労について取り組んだ事例の発表を聞き、私も介護福祉士として「利用者様の生活を支える専門職」であるという視点を持ち、それぞれの人生を尊重し、寄り添った支援ができるよう努力が必要であると感じました。

懇親会では、高知県の会員の方々から、あたたかい心のこもったおもてなしを受け、他県の方々とも交流することができ、充実した時間を過ごすことができました。次回は、岡山県での開催なので、岡山から感謝と感動を、そしてこれからの介護福祉士の可能性について伝える大会が開催できるよう頑張りたいと思ひます。

(副会長 菅原 摂子)



「おかやま介護フェア2018」開催

2018年10月13日(土) イオンモール岡山1階未来スクエア

今回の介護フェアはオール岡山(岡山県老人福祉施設協議会、岡山県介護福祉士養成校、介護関係職能団体)で行う第1回目でした。

高瀬ヒルサイドテラスからも介護男子・介護女子に参加をしました。会場で多くの方に観てもらっているみんなは本当に輝いて見え、感動を覚えました。介護に対する熱い気持ち、プライベートの充実、介護の魅力を余すところなく発信するのに、一役も二役も果たせたのではと思いました。

また、介護現場の若い人達がこんなに一生懸命に躍動感のあるステージをしているのを見て、仕事ぶりも垣間見えたように感じました。昨今の若者とは言われますが、とても元気がもらえました。これからの介護を担う方々がこのステージを見て、介護の仕事に就くきっかけになればと思いました。

介護の未来は明るいと感じました。



様々なイベントがイオンモールの1階未来スクエアにて行われていました

介護相談コーナー



人気のあった
高齢者疑似体験コーナー



*** 介護の日 ***
~11月11日は介護の日~
厚生労働省において、「いい日、いい日、毎日、あったか介護ありがとう」を念頭に、介護に関する国民への啓発を重点的に実施する日として、「11月11日」を「介護の日」と定めています。
これまで岡山県内それぞれの団体で啓発活動を行っていましたが、今年度よりオール岡山での啓発活動を行うことになりました。

介護福祉士会では介護相談・高齢者疑似体験コーナーを設け、多くの方に介護を身近に感じてもらうことができました。



本イベントは、岡山県、県内の介護福祉士養成校及び岡山県老人福祉施設協議会や岡山県介護福祉士会等の介護関係職能団体が一体となって、介護業界のイメージアップを図る目的で開催されました。各団体が一体となった開催は、今年初めての試みです。



(広報：森谷、磯田)

紹介します！

地区活動

地区研修

新見地区

地区活動

楽々家庭介護教室

新見地区では、10月27日（土）に新見市上市地区婦人会様のご依頼を受け、『楽々家庭介護教室』を開催しました。

『紙オムツの当て方のちょっとしたコツ』や『飲み込み易い食事について』など、初めての方にも理解し易い介護のコツを面白おかしくゆかいなトークを交えて紹介。和気あいあいとした雰囲気の教室となり、大変好評をいただきました。



紙オムツの当て方について

思わず、笑みがこぼれます(*^_^*)



介護相談会

新見地区では、11月4日（日）に、『いい日、いい日は介護の日』にちなんで介護相談会を行いました。

この日は市内のイベントがあり、場所をお借りして、チラシやティッシュを配りました。

地元であった為、勤務先である施設を利用されていた方のご家族様であったりと多くの皆さんと出会い、介護が終わったその後の暮らしなどの様子を伺いました。その中で、心に残ったのは、「介護はなくなっても気持ちは続いている」というご家族様の言葉でした。

天寿を全うされたその後も、いつまでも心の中に生きておられ、時には「今日は会いに行かないといけんなあ」とぼんやりと思い出し、介護がまだ続いている様な気持ちになるとのことでした。亡くなってから3年経つと、やっと気持ちの整理がつくのだとも話されていました。

介護経験者のご家族様の話を聞くことができ、学ばせていただく機会もあり、このイベントに参加して良かったと感じました。

小さなお子さんや小学生も来られていたので、多くの方に『介護の日』を知っていただけたかと思います。



(新見地区：広報・磯田)

倉敷地区

地区研修

日 時：平成30年12月2日（日）

会 場：特別養護老人ホームますみ荘

テーマ：「一次救命処置と高齢者災害時支援・豪雨災害への備え」

講 師：日本赤十字社岡山県支部救急法指導員

影山 美保子 先生 満 和久 先生 村上 浩司 先生



地震、津波、風水害から「命を守るために」共通することは、

- ①まずは自分の身の安全を守ること
 早めに安全な場所に避難する。（災害種により避難場所が違う）
 津波の場合は高い所に避難する。絶対に戻らない！
 地震の場合は、火の始末も忘れずに！
- ②住んでいる地域を知ること
 ハザードマップをみて確認する。
- ③隣近所との日頃からの付き合いを大切にすること
 あいさつから始めてみる。



- ・避難勧告が出ても「まあ大丈夫だろう…」と逃げない。これが災害の心理。
- ・避難指示が出た時にはもう遅い！
 避難所に逃げるだけでなく、2Fへ上がるなど垂直避難という方法もある。
- ・日常備蓄では、自分しか使えない薬や衛生用品が必要となる。電池も重要になる。
- ・子どもにとって長期的な生活にはゲームが必要となってくる。
- ・自助、公助、共助、地域の防災力が大切になってくるが、「備えあれば憂いなし」である。

研修を通して、防災について平時から考え、災害から命を守る基盤づくりをしていくことの大切さを学ぶことができました。

後半は、心肺蘇生とAEDを用いた除細動の実技訓練を行いました。

もし傷病者に出会ったら、正しい知識と技術で救急隊や医療機関へつなげることができるか、定期的に訓練が必要だと感じました。

（倉敷地区：広報・吉川）

井笠地区

地区活動



井笠地区では、平成30年10月21日（日）に井原市で開催された『はつらつ井原ふれあいフェスタ』に介護相談ブースを設け、地域の方々と交流することができました。

家庭介護の体験談をお話くださる方、介護保険制度についての疑問点を聞かれる方などおられ、傾聴し丁寧に質問に答えさせていただきました。また、岡山県介護福祉士会のPRもしっかり行うことができ、介護福祉士としての役割を果たせた実り多い一日となりました。

（井笠地区：広報・池田）



真庭地区

地区活動

私たち岡山県介護福祉士会、真庭地区は、介護福祉士の会員だけでなく、会員ではないが介護の仲間が参加しやすい、参加したいと思えるような研修や懇親会を計画しています。

他施設の方と関わる機会、繋がりを持ち、パイプが太くなる事で真庭地区全体が盛り上がっていくのではないかと思います。

また、これからの介護の担い手となる子供たちに介護の「魅力・やりがい・楽しさ」を伝える活動を始め、昨年度は「認知症や介護福祉士とは」と言う項目で寸劇を行いました。

1 回で終わるのではなく、今後も継続して行い、将来の人材確保、育成に繋げていけたらと考え、今年度はH30年9月29日地元の小学4年生対象に「高齢者体験・車いす体験」を1限使い行いました。

小学生の感想

- ・ 高齢者体験をして、こんなにこしがいたい、目が見えないんだなとわかりました。
- ・ あたしは車いすに乗って動いてみて、動きにくいと思いました。おじいさん、おばあさんにとっては、だいぶんなれていると思いますが、あたしたちにとっては、重くのがまだ上手にはなりません。だから、かいごのお仕事をして、おじいさん、おばあさんのことが知りたいです。
- ・ また、お年より体験がしたいです。
- ・ 困っているお年よりがいたら助けたい。

(真庭地区：広報・山崎)



青年隊「晴れる家ハレルヤ」隊員

青年隊「晴れる家」活動報告！

晴れる家&山陰・介護アクション共催企画

～明日へのステップアップ研修～



平成 30 年 12 月 8 日（土）に真庭市にある施設ラ・ストーリア・ケイズにて島根で活動している自主団体山陰・介護アクションさんと晴れる家共催の研修会を開催しました。

今回の共同開催に至った経緯は県北チームのメンバーの中に山陰・介護アクションさんと繋がりがあがり一緒に何か出来ないかという申し出があり実現に至りました。

研修を始める前にお互いの活動報告をしました。

研修では最初にアイスブレイク（サイレントゲーム）をして場を盛り上げ、ワールドカフェというグループワークを行いました。

テーマは【私が生き活きる事】で 1 クール 15 分×3 回行いました。

小テーマがあり①理想について、②今について、③未来について、4 つのグループに分かれてそれぞれ話し、お互いの意見を交わしました。

ワールドカフェにはグラドルールが 3 つあり、参加していた方はそれを守り楽しく意見交換をしていました。

研修の最後には明日への自己表明（明日から行うこと）を一人一人発表していき研修は終わりました。

今回の研修で、介護の繋がりがや介護の仕事に熱い気持ちを持っている方々が沢山いることがわかり刺激のある素晴らしい研修でした。

今後も、他団体と交流を深める研修を企画していきたいと思います。

（晴れる家 大佛）



医療・介護フェスタ

平成 30 年 10 月 28 日 (日) 医療法人紀典会老人保健施設エスペランスわけて開催された「医療・介護フェスタ」に晴れる家も参加させて頂きました。

ステージイベントと体験ブースに関わらせて頂き、ステージでは介護レンジャーが他職種連携について伝えました。短い準備期間の中でのステージでしたが、会場は笑いに包まれ、子どもから大人までわかりやすく楽しめるステージとなりました。

ブースでは高齢者体験を行い、実際に車椅子に乗ってもらったり目が不自由な方の体験をして頂きました。「初めて体験しました」「こんな風に見えるんですね」等という声が聞け、来てくださった方々に私達の知識、技術を活かし、介護について知ってもらう良い時間となりました。晴れる家のメンバーも他施設で地域の方々と交わり貴重な体験をすることができました。受け入れてくださったエスペランスわけの方々、ありがとうございました。
(晴れる家 早見 菜名)



津山市の特別養護老人ホーム高寿園施設見学

晴れる家の県北チーム主体で企画して参加してきました！

前半の施設見学では、開放感とプライバシーの両立等、高寿園の職員の方々のケアへの思いが各所に反映されているなど感心しながら説明を受け、5人ずつくらいのグループ毎に施設を回り、車椅子に交代で座って利用者目線で体感してみました！

後半のグループワークでは、自己紹介→介護にまつわるエピソード等を語っていき、他施設の方々との交流と、施設によって違う取り組みをしていることを知ることが出来、お互いの刺激になりました！

県北地域を主体に今回の様なイベントが出来たのは貴重なことなので、また今後も取り組んでみたいと思いました！

(晴れる家 西本)



平成30年度賛助会員の皆様

(順不同)

特別養護老人ホーム恵風荘	学校法人美作学園
ローブリーク	医療法人社団新風会
学校法人旭川荘 旭川荘厚生専門学院	中央法規出版株式会社
東洋羽毛中四国販売株式会社岡山営業所	医療法人ザイタック
森脇法律事務所	社会福祉法人旭川荘 特別養護老人ホーム旭川敬老園
日本福祉大学 中国・四国地域ブロックセンター	リコージャパン株式会社 岡山支社
川崎医療短期大学	

ご支援ありがとうございます

2019年度岡山県介護福祉士会 賛助会員募集

当会の趣旨、目的に賛同頂ける岡山県介護福祉士会賛助会員を募集しております。

詳細につきましては、事務局までお問い合わせください。

資料を送付させていただきます。

岡山県介護福祉士会事務局 TEL：086-222-3125

✉ 県介護福祉士会からのお知らせ.....

◇中国・四国ブロック研修会について

第25回 中国・四国ブロック研修会－介護福祉士制度創設30周年記念大会－が6月21日（金）・22日（土）と岡山で開催されます。詳しくは、お送りした開催要綱をご覧ください。

みなさんのご参加をお待ちしております。

一緒にこの大会を盛り上げていきましょう！



◇会員登録について

年度末が近づいてきました。住所、職場の変更はございませんか？登録内容について変更がございましたら、変更届のご提出をお願いいたします。

また、退会につきましても同様に、必ずその年度中（3月31日まで）に退会届をご提出下さい。お仕事を退職されただけでは退会とはなりませんのでご注意下さい。様式は、事務局へご連絡いただければ送付いたします。ホームページからも印刷することができます。

みんなの広場

ほっとステーション



なみ 画

～施設長と施設内研修会について、
話し合いを行ったときの会話より～

施設長「今のうちの施設に必要な研修は何なのだろう。講義形式で知識をたくさん詰め込むことも必要なのかもしれないが、介護職には、「感性」がとても大切なのではないかな。たまには、違う形式で感動する映画をみるなど行ってみてもいいのではないかなと思うよ。」

私「私も介護には感性がとても大切だと思っています。実習生や新人職員にも、『介護職には知識と技術を積み、相手を想う気持ちを持つことがとても大切です。そして感性豊かに五感（視覚、嗅覚、聴覚、味覚、触覚）を働かせ、相手の思いに気づかなければならないので、感動する映画や本、音楽を聴くなど、感性を豊かにすることも意識しましょう』と伝えていきます。」と答えた。

『私は、この施設にいてよかったなあ』と感じた、ホッとした出来事でした。 PN：のんのん

高校2年の娘に、
4コマ漫画を書いて
と言ったら、この漫画を
書いてくれました。



ほっとステーションへの投稿をお待ちしています

あなたの職場の様子や利用者さんとの日々のやりとりを教えてください。同じ「介護」で働く皆さんが共有できる、そんな情報をお待ちしています。



編集担当

岡山県介護福祉士会
広報委員会

菅原 摂子	小橋謙太郎	池田 和輝
平松 稔之	森谷 謙作	大森 幹人
早見 潤一	山崎 一範	平井 大介
吉川 信一	西本 光男	立間百合子
内藤 佑弥	河島 友美	池田 和彦
甲加 勇樹	磯田 明枝	